

原発協  
県対

### 中電は説明責任果たせ

#### 党県議団が意見述べる

中国電力島根原発2号機（松江市）の再稼働を巡り、島根原子力発電所周辺環境安全対策協議会



が11月24日、松江市内で開かれ、会長の丸山達也知事、県議、松江と出雲、安来、雲南4市長住民代表ら56人が委員として参加しました。県市が主催した住民説明会等でも出された意見や安全対策、避難対策、国のエネルギー政策等について国等の見解に対する県の認識が報告されました。質疑で、日本共産党の尾村利成県議は、島根原発2号機は危険なプルサーマル運転が計画され、

### 政治を変えるたたかい再始動

選挙後、広島市内で街頭演説中、通りすがりの女性から声をかけられました。中学生時代、私



大平よしのぶ 前衆議院議員

アツく やさしく

が生徒会長をやっていた時に副会長をして一学年下のMさんで

再会を懐かしみ、当時の思い出話とともに、私の初当選の時から応援してくれていたようで、今回の結果をとっても残念がっておられました。

LINEの交換をし、その日の夜には「当たり前の安心できる暮らしがしたいです。微力にかならないですが、これからも応援してますね！」とのメッセージも届きました。たくさんの期待が詰まった中国地方で寄せていただいた比例の17万3117

### 民青の魅力伝え、仲間迎えよう

#### 民青県委が代表者会議開く

福島原発事故ではプルサーマル運転していた福島第1原発3号機が爆発したことを紹介した上で「中電はプルトリウムを1・4トン保有し、年間0・4トン使用する計画である」と指摘。「県が2009年にプルサーマルを了解した際、30km圏内の出雲、安来、雲南3市は議論に入っておらず、中電は説明責任を果たすべきだ」と強調。

民青同盟島根県委員会が11月28日、出雲市内で第69回代表者会議

大國陽介県議は、避難計画の実効性について「住民説明会では多くの疑問や不安の声が出されている。今の計画は妥当な水準とは言えない」と指摘しました。他の委員からも「屋内退避の住民理解が進んでいない。広報を強め、周知を」住民が不安を持つ中で再稼働は時期尚早だ」などの意見が寄せられました。

票。一票一票に込められた願いにしっかりとこたえていけるよう引き続きがんばります。

「なによりいのち」——公約実現の活動として選挙後まず向かったのは、島根県の江の川流域。この間何度も水害に遭っている被災者を訪ねました。

美郷町の男性は「高台移転の提案があるが、自己負担1千万円と言われ、移りたくても移れない」と語り、江津市川平地区のご夫婦は、水が迫ってきた当時の恐怖をうったえ、「とにかく川から離れたい。移転への支援を急いでほしい」と。どの声も本当に切実。ただちに政府交渉に

も取り組み解決へ全力をあげます。一方、選挙後1カ月の岸田政権といえ、コロナ給付金は必要な人に届かず、誰も求めていない改憲には前傾姿勢。岩国基地には米軍の強襲揚陸艦が寄港し、美保基地には最新鋭の空中給油機配備が。米国の核先制不使用方針に反対し、またしても広島で今度は公明党の「政治とカネ」問題勃発も。何も変わってない、どこかますます命と暮らしと民主主義が脅かされます。参院選に向け、政治を変えるたたかいも再び始動です。(11月27日記)

### 地域の話題

#### 松江 就学援助制度

##### 案内文書改善へ

松江 就学援助制度の案内文書が令和4年度から、言葉づかいをやさしく、説明も文章だけでなく図を用いるなど、わかりやすく改定されました。

案内文書は、新入学の方には就学時健診の際に、在校生には次年度に向けて2学期に配布されています。

新日本婦人の会が、制度の周知を工夫すべきと市の担当課を招いて学習に

取り組み、収入要件の目安を示すことなど案内文書の改定を要望。たばなふみ市議も議会質問で取り上げていました。(新しい

### アソコ

松江「より」

#### 災害避難所整備を

##### 田食議員が要求

田食議員は「国の避難情報、より厳しい避難情報になり、行政が指定する避難場所への避難が基本になった」と指摘し、「今夏の大雨で町立小・中学校の体育館が指定場所として設置されなかったのはなぜか」と質しました。

梶谷総務課長は「これまでの避難者数の実績からコミセンや公民館を避難所として開設した。コミセンには冷暖房があり、生活のしやすさを確保できると判断したため」と説明。

田食議員は「大規模災害を想定すると、学校体育館

的意義などを豊かに交流しました。「民青での学びは新しい発見の連続。今後は気候危機やジェンダー平等の問題を学んでいきたい。政治や社会について学び、大きな班をつくりたい」「食糧支援活動の中で多くの学生の声を聞いてきた。食糧支援だけでなく、高すぎる学費の引き下げや入学金制度をなくす活動にも取り組みたい」などの発言があり、参加した学生は、原発再稼働や社会保障費削減など、班での学習が社会を知るきっかけになったと語りました。

### 第33回 戦争体験を語り継ぐ集い

12月18日(土) 13:30~15:30

島根県民会館・3階大会議室 参加費無料

- 第一部：講演「戦争と犠牲」 本間順一さん(松江市苧町)
- 第二部：朗読劇「さあちゃんとヒロシマ」

主催：「第33回戦争体験を語り継ぐ集い」実行委員会

#### 江津 江津市の引きこもり

##### 推計で235人

11月10日、江津市議会総務民生委員会が開催され、「引きこもり」や「生活困窮者支援」などについての調査が行われました。市担当課からの「引きこもり」についての報告によれば、島根県が2019年に行った調査で、人口比による推計として、江津市には引きこもりとなつて

いる人が23・5人いるとされています。

江津市では、2021年5月に引きこもり相談窓口を設置し、これまで3件の相談が寄せられています。(「うつつ民報」より)